

会津美里町市野集落より市野峠

大竹 尚子

- 山行年月日:2022年1月23日
- メンバー:斎藤美和子 大竹幹衛
大竹尚子
- コースタイム:市野集落 7:55～旧道に入る 9:10～市野峠 11:46-12:15～市野集落 13:50

このところの雪や風も収まり、陽射しが戻ってきた。山スキーをするにはまだ雪が落ち着かないが、足慣らしにどこかいいところはないかと考え、会津美里町から大内宿に抜ける市野峠を目指すことになった。明治11年(1878年)6月、イギリス人女性イザベラバードが大内宿から会津へ超えたのが市野峠である。

会津高田中心地から南下し、旭地区に入る。さらに南へ山間に分け入っていくと、最奥の集落が市野集落になる。林道の除雪終点に車を置く。地図には林道が途中までしかないが、実際は大内ダムまで二輪車や軽トラックで抜けることができるらしい。スキーを付けて林道を歩

き出すと、イノシシの足跡が先行している。しばらくすると雪をこんもりと乗せた地蔵堂が建っていて脇にはこんこんと清水が湧いている。きっとイザベラバードものを潤しただろう。林道が市野沢の左岸から右岸に渡る橋の所からいよいよ旧道の登りになる。

杉の植林地の中をジグザグに登ると、平坦な場所に出る。このあたりも杉の植林地だ。やがて林道を横切り、「イザベラバードの道」の標識からまた旧道に入る。ここからはほぼ水平に道は進んでいて、行く先に市野峠らしき高みが見える。今日は視界も利いてしばらくぶりにほっとした天気だ。

最後の斜面をジグザグに登ると、切通しの市野峠に到着する。峠にはカーブミラーと立派な看板があった。北側を眺めると、白い会津盆地が霞んで広がりその先には飯豊も見えた。イザベラバードもその美しさに感動したと看板には書いてあった。

さて、帰路は往路を忠実にたどろうと考えていたが、先ほどの林道がここまで延びていることがわかり、これを利用することとした。初めは水平でトップなどは全然滑らなかったが、標高750m辺りまで下ると傾斜が出てきて、俄然滑り出した。新春の暖かい日差しの中を子どものように滑り降りた。林道を滑って来て正解である。地蔵清水でのどを潤し、車に戻った。



地蔵清水